

九州各県高等学校理科関係職員 様

第62回九高理沖縄大会運営委員長  
沖縄県高等学校理科教育研究協議会会長  
沖縄県立開邦高等学校校長  
渡久平 元一

## 令和6年度 第62回九州高等学校理科教育研究会

### 沖縄大会のご案内

皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の大会を下記の要領で開催いたしますので、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

また、理科教育の振興と充実のため、理科関係職員の参加について、格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

- 目的** 理科教育に関する研究発表、意見発表、研究協議及び野外研修を行い、九州各県における理科教育の振興と発展を図るとともに、九州高等学校理科教育研究会の定期総会を開催する。
- 主催** 九州高等学校理科教育研究会  
沖縄県高等学校理科教育研究協議会
- 後援** 文部科学省      沖縄県教育委員会      那覇市教育委員会
- 期日** 令和6年8月1日（木） 総会、全体講演、分科会（意見発表、研究協議）  
8月2日（金） 分科会（研究発表、講演）、野外研修（希望者）
- 会場** 沖縄産業支援センター（ゆいレール小禄駅より徒歩13分）  
〒901-0152 那覇市字小禄1831-1 TEL 098-859-6234

#### 6 日程

・第1日目 8月1日（木）

9:00～9:30 受付	9:30～10:40 開会式・総会・表彰式	10:50～12:20 全体講演	昼食	13:30～16:00 分科会（意見発表・研究協議）
-----------------	--------------------------	---------------------	----	-------------------------------

・第2日目 8月2日（金）

9:00～10:30 分科会（研究発表）	10:45～11:45 分科会講演	11:45～12:00 閉会行事	13:00～ 野外研修（希望者）
-------------------------	----------------------	---------------------	---------------------

7 費用 一人あたり 5,000 円

8 事務局 九高理沖縄大会事務局  
〒903-0117 沖縄県中頭郡西原町字翁長 610 番地  
沖縄県立西原高等学校内 沖縄大会事務局  
事務局長 仲里 健  
TEL 098-945-5418 FAX 098-946-0339  
E-mail [nakaztot@open.ed.jp](mailto:nakaztot@open.ed.jp)

## 9 大会主題

### 「科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する理科教育」

#### ＜主題設定趣旨＞

高等学校理科の学習指導要領（H30 告示）における目標は、「自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」としている。この資質・能力は、自然現象の理解と観察・実験等の技能（知識及び技能）、科学的に探究する力（思考力、判断力、表現力等）、科学的に探究しようとする態度（学びに向かう力、人間性等）の三つの柱に整理され、課題の把握（発見）、課題の探究（追究）、課題の解決という「探究」の過程を通じた学習活動を行い、それぞれの過程で資質・能力が育成されるよう指導の改善を図ることが必要とされている。すべての教科で「主体的・対話的で深い学び」の実現する授業改善が求められている中で、理科においては従来行ってきた観察・実験等の探究的な活動について、生徒がより主体的に「探究」の過程を踏まえ ICT を効果的に活用しながら行うことがなお一層重視されている。このような資質・能力を育成する理科教育は、今後必要とされている教科等横断的な STEAM 教育を牽引していくもとの考え、このテーマを設定した。

## 10 分科会及び分科会の協議題目等

物理分科会 「科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する物理教育」  
化学分科会 「科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する化学教育」  
生物分科会 「科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する生物教育」  
地学分科会 「科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する地学教育」

## 11 全体講演者、分科会講演者並びに演題

	氏名	所属	発表題目
全体	西田 睦 氏	国立大学法人琉球大学 学長	琉球弧に国立自然史博物館を創ろうという構想：生物多様性の進化研究の経験から
物理	前野 昌弘 氏	国立大学法人琉球大学 理学部物質地球科学科	物理教育における『誤概念』とその対策
化学	中川 鉄水 氏	国立大学法人琉球大学 理学部海洋自然科学科	材料化学の SDGs：水素とリサイクル
生物	盛口 満 氏	沖縄大学人文学部 子ども文化学科	沖縄の生き物あれこれ ～生き物関係の出版物より～
地学	山田 広幸 氏	国立大学法人琉球大学 理学部物質地球科学科	航空機を用いた台風の研究

## 12 分科会指導助言者

	所 属	職	氏 名
物理分科会	沖縄県立総合教育センター	研究主事	山城 富
化学分科会	沖縄県立総合教育センター	研究主事	伊藝 俊
生物分科会	沖縄県立総合教育センター	研究主事	島袋 陽
地学分科会	沖縄県立総合教育センター	研究主事	伊元 岐

## 13 各分科会発表者

### ○ 物理分科会

意見発表者		発表題目
佐賀県立致遠館高等学校	モリタ イッペイ 森田 一平	指導と評価の一体化に向けた授業改善
長崎県立上五島高等学校	オゼキ マサト 小関 真人	工業高校でのチャレンジ ～試したこと・教科間連携～
宮崎県立妻高等学校	ウエノ トモヤ 上野 友哉	教科書の「思考力をはたらかせながら考察する 問題等」を生徒課題レポートへ活用する
鹿児島修学館高等学校	ミナミ ダイト 南 大都	観点別評価について
研究発表者		発表題目
福岡県立香住丘高等学校	デグチ エイジ 出口 英二	高校物理基礎における習得型反転授業1 年間の実践と課題
大分県立大分上野丘 高等学校	テシマ タカフミ 手島 隆文	生徒の探究力を育む物理部の活動とその 運営について
熊本県立八代高等学校	タシロ コウキ 田代 洸輝	IB 教育の視点を取り入れた授業実践に向 けて
沖縄県立沖縄水産高等学校	マツダ コウジ 松田 幸士	「探究」学習過程を重視した授業改善の取 組み - I C T を効果的に活用した観察・ 実験・実習の実践 -

### ○ 化学分科会

意見発表者		発表題目
福岡県立八女高等学校	ヨシカワ ナオミ 吉川 奈穂美	『指導と評価の一体化』のための学習評価 ～単元 「化学平衡」における、主体的・対話的で深い学び の視点からの授業改善と評価～
大分県立日田高等学校	アンドウ カズキ 安東 和樹	探究の過程を取り入れた授業実践～浸透 圧を題材として～
熊本県立人吉高等学校	イノウエ タカヒロ 井上 貴裕	生徒の学習活動をどのように評価として 残すのか
沖縄県立糸満高等学校	フジキ ジュンペイ 藤木 淳平	探究の過程を取り入れた授業づくりの工 夫ー酸と塩基の学習を通してー
研究発表者		発表題目
佐賀県立唐津東高等学校	ヤナイ イオリ 梁井 伊織	生徒の表現力を向上させるための授業づ くりについて
長崎県立平戸高等学校	ミヤモト ユウキ 宮本 友樹	生徒に考えさせる実験を通じた協働的な 学びの充実
宮崎県立妻高等学校	セイ カナミ 清 香奈美	「主体的・対話的で深い学び」を育む授業の工 夫～中和反応を用いた授業での実践～
鹿児島県立甲南高等学校	ミヤモト カズタカ 宮元 一賢	化学への興味関心を高める取り組みいろい ろーオンラインからハンドメイドまでー

○ 生物分科会

意見発表者		発表題目
熊本県立南稜高等学校	ハシグチ コウスケ 橋口 晃亮	問いから始まる授業実践と ICT 活用による業務改善
宮崎県立都城西高等学校	トヤマ マサキ 外山 真樹	デジタル時代の授業デザイン ～博物館職員時代の学びを生かして～
鹿児島県立市来農芸 高等学校	タナカ ミホコ 田中 美穂子	学習者主体の学びのデザイン-学び方× ICTで多様な学びを選択する- ～生物基礎「体内環境を保つしくみ」の実 践を通して～
沖縄県立宮古高等学校	シマブクロ ユウキ 島袋 侑希	Power Apps を利用した新たな教材開発の 可能性について
研究発表者		発表題目
明治学園中学高等学校	クヤ ミツハル 久家 光晴	ジャンボタニシの液肥化～外来生物を題 材とした課題研究の一例～
佐賀県立致遠館高等学校	オノ タツアキ 小野 立晃	反転授業を生かしたアクティブな授業づ くり～科学的探究能力の育成に向けて～
長崎県立波佐見高等学校	イトウ ヨシヒロ 伊藤 善弘	簡易型理科ニュース活用学習の考案とそ の実践による「学びに向かう力」の向上を 目指した学習方法の検討
大分県立大分舞鶴高等学校	タシマ コウタロウ 田島 幸太郎	深い学びに向けた小集団学習の活用

○ 地学分科会

意見発表者		発表題目
福岡工業大学附属城東 高等学校	ソエジマ エイコ 副島 英子	防災教育 大雨や地震その時どうする
佐賀県立佐賀北高等学校	キヅカ ダイスケ 木塚 大輔	地学基礎に対する意識調査及び授業実践
長崎市立長崎商業高等学校	ヒラユ マサトシ 平湯 政敏	梅雨入りと梅雨明け
大分県立三重総合高等学校	ヨシオカ ケンジ 吉岡 賢二	理学部地学コースへの進学をめざす生徒 の指導を通して
研究発表者		発表題目
熊本県立菊池高等学校	タノウエ タカノリ 田上 剛範	ESD の視点を取り入れた地学基礎の授業 づくり
宮崎県立宮崎北高等学校	イノマタ タクロウ 猪俣 拓郎	地学基礎で思考力を評価できる教材の開 発～SSH校1年目で私ができそうなこと～
鹿児島県立武岡台高等学校	クボ シゲト 久保 重人	教科横断を意識した地学基礎の授業実践
沖縄県立向陽高等学校	ハチマン シオリ 八幡 史織	科学的リテラシーを育む授業の工夫 ～沖縄島の岩石と地質分布を軸とした探 究活動を通して～

#### 14 ポスターセッション・教材展示の参加希望者を募ります

希望者は、右 QR コードから Forms で申し込みをお願いします。  
展示等についての説明もありますので、お読みください。



**申込締切 令和6年6月28日（金）**

<https://forms.office.com/r/gZfyMYmqsS>

#### 15 野外研修（希望者）

**A コース：沖縄県立博物館・美術館 博物館バックヤードツアー**

場 所：沖縄県那覇市おもろまち

講 師：生物担当・主任学芸員 菊川 章、地学担当・博物館班班長 宇佐美 賢

参加費：1,500 円（移動料金・施設料金・保険料・資料代など）

##### 【 行 程 】

沖縄産業支援センター玄関前（出発 13:00） → 移動（30 分）

→ 沖縄県立博物館・美術館（13:30） → 実習（13:30～15:30） → 現地解散（15:30 予定）

備考：

- ①昼食を済ませた後の出発を予定しています。事前にお弁当の注文をお勧めいたします。
- ②実習場所で解散となりますのでご了承ください。お帰りの際は、沖縄県立博物館・美術館からゆいレールおもろまち駅まで徒歩約 15 分、おもろまち駅から那覇空港まで約 20 分です。
- ③申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

**B コース：環境省 漫湖水鳥・湿地センター**

場 所：沖縄県豊見城市

講 師：環境省職員、生物職員

参加費：1,000 円（移動料金・保険料・資料代など）

##### 【 行 程 】

沖縄産業支援センター玄関前（出発 13:00） → 移動（15 分）

→ 漫湖水鳥・湿地センター（13:15） → 実習（13:15～15:15） → 現地解散（15:15 予定）

備考：

- ①昼食を済ませた後の出発を予定しています。事前にお弁当の注文をお勧めいたします。
- ②実習場所で解散となりますのでご了承ください。お帰りの際は、漫湖水鳥・湿地センターからゆいレール奥武山公園駅まで徒歩約 15 分、奥武山公園駅から那覇空港まで約 15 分です。
- ③申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

## 16 参加申し込み手続きについて

大会参加申し込みおよび、野外研修申し込みは、「令和6年度 第62回九州高等学校理科教育研究会 沖縄大会 ～大会参加・お弁当・野外研修のお申し込みについてのご案内～」をご覧ください。

申込期間：2024年5月27日（月）AM 10:00～6月28日（金）PM 17:30まで

# 会場アクセス・駐車場 案内



《モノレール》 那覇空港 ⇒ 小禄駅（乗車約4分）  
小禄駅 ⇒ 沖縄産業支援センター（徒歩約13分）

《駐車場》 沖縄産業支援センター内に有料の駐車場あり。外来者用350台  
※入庫後3時間は無料。  
☆ 基本料金 終日60分 1000円  
☆ 最大料金 8:00～22:00 5000円

# 令和6年度 第62回九州高等学校理科教育研究会 沖縄大会

## ～ 大会参加・お弁当・野外研修のお申し込みについてのご案内 ～

大会に参加される皆様におきましてはますますご健勝のことと存じます。

この度は、「令和6年度 第62回九州高等学校理科教育研究会」がここ、沖縄県・那覇市で開催されますことをお祝い申し上げます。さて、九州各地からご参加の皆様をお迎えするにあたり、沖縄県高等学校理科教育研究協議会様のご指導の下、私ども「沖縄ツーリスト(株)営業本部」にて大会参加・お弁当・野外研修のお申し込みのお手伝いをさせていただくことになりました。つきましては、下記のご案内の内容をご検討いただき、お申し込みを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。ご不明な点やご要望等がございましたら、弊社の当大会の担当者へお気軽にお問い合わせください。皆様方の沖縄県への来県を、弊社社員一同心よりお待ちしております。

期 日 令和6年8月1日(木) 総会・全体講演・分科会(意見発表・研究協議)  
令和6年8月2日(金) 分科会(研究発表)・分科会講演・野外研修(希望者のみ)

会 場 沖縄産業支援センター(沖縄都市モノレール"ゆいレール"小禄駅より徒歩約13分)  
〒901-0152 沖縄県那覇市小禄1831-1 TEL:098-859-6234

【受付担当者】

観光庁長官登録旅行業第155号  
〒901-0155 沖縄県那覇市金城1-12-17 2階  
沖縄ツーリスト株式会社 営業本部  
TEL:098-857-2222  
FAX:098-857-2200  
担当者:伊仲 信弘(いなかのぶひろ)  
Mail:rikaken0801@otsinfo.co.jp  
営業日:平日のみ 10:00~17:30

## ★大会参加・お弁当のお申し込み方法のご案内★

### ① お申し込み方法

・Web での受付となります。下記のお申し込みサイト（URL）または QR コードより、お申し込み専用ページへアクセスしていただきお手続きをお願いいたします。尚、当ページからの決済は出来ませんのでご了承ください。

URL: <https://forms.office.com/r/K0T1WaFQx8>

QR コード:



・お電話によるお申し込みや変更等については誤手配などのトラブルの原因となりますため、担当者へのメールへご連絡をお願いします。（担当者：伊仲 信弘 rikaken0801@otsinfo.co.jp）

### ② 大会参加費

・**大会参加費は 5,000 円**となります。こちらは資料作成代等も含まれておりますため、台風等での大会中止の際でもご返金はございませんのでご了承ください。

### ③ お弁当のご案内

・大会お申し込みのフォームよりお申し込みください。 **8月1日・8月2日 両日 お弁当 1個 1,200円（お茶付）**

沖縄の食材を使用した沖縄らしいお弁当を予定しています。お弁当は大会会場にてお渡しいたします。

食べ終わりましたお弁当は、お渡しした場所で回収させていただきます。

お渡しの時間 11：30～12：00 を予定。ガラ回収の時間 13：00～13：30 を予定。

※大変申し訳ありませんが、アレルギー食の対応ができませんのでご了承ください。

### ④ お申し込み期間

・2024年5月27日（月）AM 10：00 ～ 6月28日（金）PM 17：30 まで

### ⑤ お支払い方法

・お申し込みの締切後に担当者よりご請求書をお送りさせていただきます。お申し込みフォームへご登録いただきましたご指定のメールアドレスへ添付送信します。宛名は「学校名・参加者名」にて作成させていただきます。

添付された請求書にご入金先を明記しておりますので、指定の期日までに銀行振り込みにてお支払いください。

**ご入金期日：2024年7月10日（水） 17：30 まで**



## ⑥ 大会参加におけるホテルパック等の手配について

・大会参加におけるホテルパック等の手配をご希望の方は、下記の弊社の予約サイト（URL）または QR コードよりご手配ください。商品によってはお得な場合もございます。ご予約時にはページ左上の出発地をご変更ください。

沖縄ツーリスト 本土発着ホテルパックサイト

URL : <https://ranrantour.jp>

QR コード :



※当大会における専用のお申し込みページではございません。全国共通の予約サイトとなります。

※上記の URL サイト 又は QR コードよりお申し込みいただきますとクレジットカードにて決済まで可能です。

ご予約後、予約書面が届きます。変更やお取り消しがある場合、又はご不明な点がある場合には、その予約書面に明記されている連絡先へお手数ですがご連絡をお願いいたします。

## ⑦ ご変更・お取り消しについて

・大会参加における予約内容の変更やお取り消しは担当者へのメール 又は FAX にてご連絡ください。

担当者：伊仲信弘 rikaken0801@otsinfo.co.jp FAX：098-857-2200

前日や当日など緊急の場合は、お電話で承ります。TEL：098-857-2222

・取消料金の規定は下記の通りとなります。尚、弊社の営業時間内での適用となります。

（営業日：平日のみ 10：00～17：30 休業日：土・日・祝祭日）

・ご返金が生じた場合は、大会終了後に振込手数料を差し引きの上、お振り込みいたします。

## 【お弁当の取消料金】

取消日	7月26日（金）17：30まで	左記以降、大会当日
取消料率	無 料	100%

## 【弊社 URL サイトよりお申し込みのホテルパックの取消料金】

旅行契約解除日（出発日の前日より起算）	取消料金
55日前まで	航空券 1 区間につき 500 円
54日前～21日前まで	航空券 1 区間につき 2,000 円
20日前～8日前まで	旅行代金の 20% 又は 航空券 1 区間につき 3,000 円の合計額のいずれか高い方
7日前～2日前まで	旅行代金の 30% 又は 航空券 1 区間につき 6,000 円の合計額のいずれか高い方
出発日前日	旅行代金の 40% 又は 航空券 1 区間につき 6,000 円の合計額のいずれか高い方
出発日当日	旅行代金の 50% 又は 航空券 1 区間につき 9,000 円の合計額のいずれか高い方
旅行開始日及び無連絡不参加	旅行代金の 100% 払い戻し無し